

汚染源を徹底調査・検証

2021.12.12 読者民報

住民の視点に立ち、公害克服へ提言

「イタイイタイ病 発生源対策50年史」

畑明郎・著／本の泉社



本の表紙と畑さん

日本で公害病第1号に認定された「イタイイタイ病」。京都大学大学院生時代から50年間、その調査研究に関わり続ける大阪市立大学大学院元教授（日本環境

学会元会長）の畑明郎さん（75・竜王町）が、「イタイイタイ病発生源対策50年史」（本の泉社）を出版しました。

富山県の神通川下流域で多発したイタイイタイ病は、患者の多くが「痛い、痛い」と泣き叫んだことからその病名が。上流部の三井金属鉱業神岡鉱山から排出されたカドミウムが

原因で、四大公害訴訟の一つとしてたまたかわれました。

本書は、被害住民らと共に原因企業の内部に立ち入り、汚染源を徹底的に調べ上げた著者が、その全容を克明に記録。原告勝訴から50年の今年、継続される立ち入り調査など発生源対策と課題を明らかにしています。

（税込2200円）